

令和4年7月12日

保護者 各位

高松市立仏生山小学校
校長 高橋 和巳

『屋島学習』で宿泊を伴わない学習としたことについて(お知らせ)

標記のことについて、本年度は下記のような考えのもと、『宿泊を伴わない学習』とし計画を進めています。子どもたちにとって貴重な体験の場を狭めてしまうことになってしまい、申し訳なく思っていますが、年度当初に年間計画を作成する時点で、さまざまな視点から検討し総合的に判断した結果、本年度はこのような日程とさせて頂きました。詳細については関係機関等への影響もあり全てお知らせできない内容もありますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

なお、本年度の屋島学習は、施設に確認したところ、現時点から『宿泊を伴う』日程への変更は受け付けられないという返答を頂いております。

記

1 本年度の日程

※ 本年度の『屋島学習』は昨年同様「日帰り」で計画しています。

学校発 → いかだづくり → 昼食 → レザークラフトまたは焼き板づくり → 帰校

2 『泊をとまわらない学習』とした主な理由について

(1) 屋島学習の目的を『海浜活動の体験』を第一義に検討しました

- ・ 宿泊の場合は、初日登校後すぐに学校を出発し、翌日の午後、通常の下校時刻とほぼ同じ時間に帰校する2日間にわたる日程となります。
- ・ 本年度は、感染症対策のため、全員が揃って体験できる『海浜活動』は、『いかだづくり』の半日のみに限られます。そして、この『いかだづくり』の活動は、天候の影響で実施できないリスクが大変高い活動でもあります。
- ・ また、実施時間も変更できないことになっています。例えば初日午後に計画していても、雷雨や強風等で中止となった場合、翌日天候が回復し快晴であっても、『いかだづくり』は翌日に変更できません。
- ・ 屋島学習の目的を『海浜活動の体験』とした場合、コロナ禍の中、通常よりも感染リスクを抱えた2日間の日程の中で、メインの『海浜活動』が全く体験できず2日間を送るより、本年度はダメージが少ない『日帰り実施』とする方が良いと判断させて頂きました。
- ・ なお、これまで用意されていた『カッター』プログラムは、感染症対策のため、本年度は用意されていません。

(2) 学校生活の中で各種『体験』の充実を図ろうと取り組んでいます

- ・ 今後の感染状況の推移を見極めながら、次年度も含めた『校外学習』等で、様々な『体験』を盛り込んだ活動を計画していきたいと考えています。
- ・ 日頃の学級活動の充実を図り、学級集会や学年団集会を企画運営し、友だちとの交流を深める『体験』の場を設けていきたいと考えています。